

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和4年3月1日～令和4年3月31日

| | | | |
|-------|--|----------|---|
| 施設名 | 高松市仏生山交流センター | | |
| 指定管理者 | あなぶき・ことでんコンソーシアム | 施設所管課等 | 仏生山総合センター |
| 指定期間 | 令和4年3月1日～令和9年3月31日(5年1か月間) | 公募・非公募の別 | 公募 |
| 所在地 | 高松市仏生山町甲218番地1 | 業務の概要 | 施設の運営・維持管理業務 ・地域のにぎわい創出に係る事業 ・貸館業務(イベントスペース、会議室、屋外広場、交流広場) ・利用料金の徴収に係る業務 |
| 施設の概要 | 【施設】 ・鉄筋コンクリート造 2階建 【職員の状況】 ・正・契約社員4人、パート1人 【開館時間】 ・9時～17時(12月29日～翌1月3日は休館) | | |

| | 項目名 | 令和3年度 | 令和2年度 | 項目名 | 令和3年度 | 令和2年度 |
|-------|-------------|----------|-------|---------------|----------|-------|
| 利用状況等 | 利用者数 | 942 人 | | 貸館平均稼働率 | 15.9 % | |
| | 自主事業開催数 | 0 | | うちイベントスペース稼働率 | 16.5 % | |
| | 自主事業参加者数 | 0 | | | | |
| 収支状況等 | 指定管理料 | 3,074 千円 | | 支出実績(総額) | 3,418 千円 | |
| | 収入実績(総額) | 198 千円 | | 精算残額(市へ返納) | 0 千円 | |
| | うち利用料金・事業収入 | 198 千円 | | | 千円 | |

| 評価基準 | 評価項目 | 指定管理者自己評価コメント | 所管課等評価 |
|---------------------------|--|---|--------|
| | | | |
| 2 住民の平等な利用確保 | ①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保 | 3月にオープンした新規施設のため、交流センターの利用促進に向けカルチャー教室などの企画立案し、4月からの運営に向け応募を行った。 条例に基づき、使用目的に応じて平等な利用の確保に努めた。 | B |
| 3 施設の効用の最大限の発揮 | ①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応 | 利用促進活動においては、自治会・近隣コミュニティセンター・小学校などにチラシを配布し、利用促進活動を行った。広報活動としては、プレスリリースなどを活用し新聞各社へのPR活動を行った。琴電の電車内で交流センター開館の案内をアナウンスしたり、プロモーションビデオを制作しホームページなどで公開した。 また利用しやすい交流センターを目指しISO10002(ご意見対応マネジメントシステム)に準拠し、お客様の声を集め、お客様満足に繋がる改善活動を実施し、サービス向上への取組に努めた。 | B |
| 4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保 | ①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理 | 職員の適正配置を行いながらシフト調整を行った。教育・研修については、まずは、管理運営を第一に考え、従業員でのサービスに差が出ないよう、OJTとして、時間の合間で適宜行った。就労規則においては、新しい人員が多いため、理解を深めるために読み合わせの機会を設け認識の統一を行った。損害保険については施設所有(管理)者特別約款に加入した。施設経費の執行については、職員による相互チェックの徹底を行った。 | B |
| 5 管理に係る経費の縮減 | ①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度 | 運営が開始したばかりの施設ですが、当社が指定管理として運営している他施設の公共施設管理運営ノウハウを基に、事前にムリムダムラを把握した上で経営の効率化を図った。 | B |

| 総合評価コメント | 総合評価 |
|--|------|
| 本施設は令和4年3月にオープンした新規施設であるため、利用促進に向けて認知度を高める取り組みとしてホームページ、SNS及びチラシでの情報発信に加え、琴電の電車内で施設オープンをアナウンスするといった、指定管理者の特性を生かしたPR活動を行ったことは評価できる。 施設点検や修繕対応等の施設維持管理業務は適切に行われており、また、利用者へのアンケート調査の結果から、来館者への対応や施設内の案内表示について一定の満足度を得ている点が評価できる。 オープニングイベント等の指定管理者主催事業は、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかったが、貸館事業については一定数の利用が行われていた。 今後は、施設内で最大規模の屋内エリアであるイベントスペースや、施設に隣接する交流広場を活用した指定管理者主催事業や、地域団体との連携事業を実施し、地域のにぎわい創出に取り組んでいただきたい。 | B |